

日本ユニシス 夏休み子ども企画として、オンライン「いきもの探索」イベントを開催！ ～新しい生活様式における、子どもたちの地域交流をオンラインで実現～

日本ユニシスは、福島県東白川郡矢祭町と共同で、オンラインによる「いきもの探索」イベントを2020年8月2日に開催します。

新型コロナウイルス（COVID-19）の影響で、大人だけでなく子ども同士の交流も制限されており、例年であればこれからとても楽しみとなる夏休みも、今年は外出や参加できるイベントが限られる状況にあります。

今回開催するオンラインによる「いきもの探索」は、矢祭町の子どもたちと東京圏の子どもたちが、それぞれ近隣のいきもの（昆虫や植物など）をスマートフォンで撮影し、アプリを通して共有し、地域間交流を図るイベントです。

日本ユニシスは、教育分野における新たな取り組みをすすめており、本イベントではITを活用したコミュニケーションや非認知能力^(注1)の学習手法についての検証も行います。

【イベントの概要】

矢祭町の子どもたちと東京圏の子どもたちが、遠隔で自宅周辺のいきもの（昆虫や植物など）を探すイベントです。子どもたちがチームを組んで探索し、スマートフォンで写真を撮り、それらを共有し交流を深めます。探索では、いきものコレクションアプリ「バイオーム」^(注2)を使用します。チーム内で成果を発表し、チーム代表者による「いきもの検討会」なども予定しています。

イベント名：矢祭×東京 オンライン いきもの探索 ～いきもの探しの冒険に出かけよう！～

日時：2020年8月2日（日） 9:00～12:30（予定）

場所：オンラインにて

※矢祭町の子どもたちは、「来る里の杜」周辺でいきものを探します。

※東京圏で参加の子どもたちは、各自の自宅周辺でいきものを探します。

対象：矢祭町および東京圏在住の小学生（参加者の募集は終了しています。）



アフターコロナの教育や交流は、合宿などの「直接会う」これまでのコミュニケーションから、「ITを使ったコミュニケーション」の需要が拡大すると推測されます。日本ユニシスは、教育分野における新たな取り組みをすすめており、今回のイベントを通じて、ITを活用し、体を動かす、お互いの地域を知るなどの交流方法や、非認知能力の学習手法の検証も行います。

日本ユニシスグループは、中期経営計画「Foresight in sight 2020」の重点施策のひとつに「スマートタウン」を選定しており、地域ごとの課題に対し、エネルギー・交通・健康・観光などのサービス提供企業と当社グループのサービスを連携させ、生活者・来訪者などに共感されるサービスの創出を目指しています。

以上

※注1：非認知能力

IQ や学力テストなどで測れない内面の力。目標に向かって頑張る力、他の人とうまく関わる力など、子どもの将来や人生を豊かにする一連の能力のこと。

※注2：いきものコレクションアプリ「バイオーム」

日本国内のほぼ全種（約 80,000 種）の動植物を収録したいきものコレクションアプリです。見つけた生きものを写真で撮影すると AI がその生きものの名前を教えてくれます。それ以外にも、図鑑・地図・SNS・クエストなど生きものにまつわる様々な機能を備えており、誰でも無料で使用できます。集められた生物データは調査・研究などにも活かされています。

■ 矢祭町について

矢祭町は福島県の最南端、茨城県との県境に位置する町。
人口約 5 千 700 人。

平成 13 年、町議会は「市町村合併をしない矢祭町宣言」を決議し、独自の行政改革に着手、「もったいない」を合言葉に抜本的な財政改革に取り組んでおり、全ての蔵書が寄贈図書による図書館「もったいない図書館」や市場流通に乗らない規格外の農産品による「もったいない市場」という 2 つのユニークな取り組みを展開しています。



■ 関連リンク：

- ・ 矢祭町公式ホームページ <http://www.town.yamatsuri.fukushima.jp/>
- ・ 株式会社バイオーム <https://biome.co.jp/>
- ・ 日本ユニシス 学校・保育ソリューション
<https://www.unisys.co.jp/solution/lob/education/index.html>
- ・ 日本ユニシス スマートタウンポータルサイト <https://smarttown.jp/>

※Foresight in sight は、日本ユニシス株式会社の登録商標です。

※その他記載の会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

※掲載の情報は、発表日現在のものです。その後予告なしに変更される場合がありますので、あらかじめご了承ください。

<報道関係お問い合わせ窓口>

https://www.unisys.co.jp/newsrelease_contact/